

<腎臓>

問1 糖尿病性腎症の透析導入で正しいものはどれか、a~eの中から1つ選べ。

- (1) 現在、日本で慢性透析導入患者原疾患の第一位である。
- (2) 適正導入時期は他の原疾患よりクレアチニンが低値である。
- (3) 導入期には腎性貧血が著しいので十分な輸血が必要である。 → ドライウェイト = 設定
- (4) 肺水腫は緊急導入の指標である。
- (5) 糖尿病性網膜症による眼底出血は透析導入の禁忌である。

a. 1, 2, 3 b. 1, 2, 4 c. 1, 2, 5 d. 1, 4, 5 e. 3, 4, 5

問2 急性腎不全に対する治療上、特に重要なものはどれか。1つ選べ。

- a. 高K血症の治療
- b. 高尿酸血症の治療
- (c) 感染・消化管出血の予防
- d. 代謝性アルカローシスの治療
- e. 透析中における血圧低下の予防

問3 正しいものはどれか。1つ選べ。

- (x) 病的な蛋白尿は間歇的である。 **持続的**
- (x) 急性糸球体腎炎では肉眼的血尿を呈さない。
- (x) 糸球体腎炎では尿中赤血球は変形する。
- (x) 硝子円柱は病的である。
- (x) 尿NAGの高値は糸球体病変を示唆する。

問4 正しいものはどれか。1つ選べ。

- (x) ネフローゼ症候群での浮腫は診断に必須である。
- (x) 腎硬化症はネフローゼ症候群の原因疾患であることが多い。
- (x) IgA腎症は予後良好である。
- (d) 膜性腎症では蛋白尿主体のネフローゼ型尿異常を呈する。
- (x) 多発性嚢胞腎はわが国の透析導入原疾患の第3位である。

問5 正しいものはどれか。1つ選べ。

- (a) ブドウ糖は近位尿細管で再吸収される。
- (x) 腎血管性高血圧の障害部位は弓状動脈である。 **腎動脈**
- (x) ループ利尿薬は遠位尿細管に作用する。
- (x) 急性間質性腎炎では蛋白尿が1.0g/日以上となることが多い。 **軽度 / 1.0g/日以下**
- (x) 尿細管性アシドーシスでは高K血症となる。 **両方**

問6 正しいものはどれか。1つ選べ。

- (a) 健康成人でも生理的蛋白尿として150mg/日認めることがある。
- (x) Tamm-Horsfall蛋白は遠位尿細管から分泌される蛋白である。 **ループ**
- (x) 尿検査でウロビリノーゲン陰性は正常である。 **弱陽性**
- (x) 尿沈渣に変形赤血球を20%認めるときは糸球体由来と診断できる。

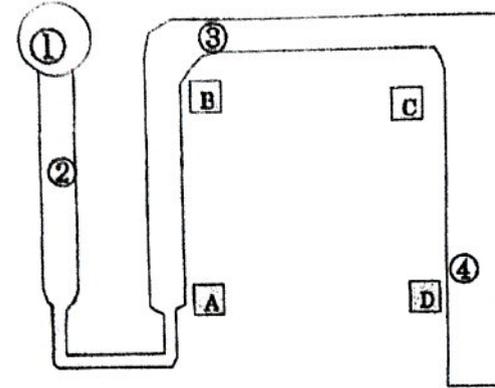
問7 正しいものはどれか、a~dの中から1つ選べ。

- (1) 腎性貧血はエリスロポエチン分泌の反応低下で生じる。
- (2) 糸球体濾過率 GFR が60mL/分以下に低下した状態を腎不全という。
- (3) 糖尿病性腎症第2期に濾過率 (FF) は低下する。 **正確か?**
- (4) CKD (慢性腎臓病) の腎障害進行のリスクファクターに加齢がある。

a. (1) (2) (b) (1) (4) c. (2) (3) d. (3) (4)

問8 下図は、腎臓の構造の一部を模式的に示したものであるが①から④までの名称をア~オの中から

①: 糸球体 ウ: 近位尿細管 エ: 遠位尿細管 オ: 集合管



上記図のA~D付近のチャンネル等に関係の深いものを下記(あ~え)より選択しなさい。

あ: アルドステロン い: サイアザイド系利尿薬 う: ループ利尿薬
え: 抗利尿ホルモン

<泌尿器>

問31 前立腺肥大症の外科的治療の適応を述べよ。

問32 転移性腎細胞癌に対する治療法を述べよ。

問33 尿管結石の外科的治療の適応を述べよ。

問34 限局性前立腺癌と転移性前立腺癌の治療法をそれぞれ述べよ。

問35 透析療法より腎移植が優れている点を述べよ。

問36 生体腎移植と献腎移植の利点と問題点をそれぞれ述べよ。

- (32) 単 → 摘除
- 再 → 再発防止 (球、2L)
- 再 → 再発防止 (2L、1.5L、2L)
- 再 → 再発防止 (2L、1.5L、2L)
- (36) 生体 → 20-10%
- 献腎 → 20%
- 献腎 → 20%